第１章　関連文化財群における取組内容

第１節　関連文化財群における取組の全体像

歴史文化基本構想に基づき、関連文化財群ごとに、個別的な取組及び群（つながり）づくりの取組の骨子（文化財の保存・活用の取組の骨子と手法）を明らかにする。

また、各関連文化財群に共通する取組内容の骨子も整理する。

表2-1-1　関連文化財群における取組の骨子（１／４）

関連文化財群【名称】	取組の骨子（文化財の保存・活用の取組の骨子と手法）		要検討の法制度等			
			保護・保全の手法		支援制度	
			文	景	歴	他
■人材育成に関わる関連文化財群【藩校養老館と多彩な人材輩出】	個別的な取組の骨子	藩校養老館の修理・復元と活用	○			
		藩校養老館及び教育・文化に関わる文書・史料の調査・研究と保存・活用	○			
		旧宅・居宅の保存・活用				
		森鷗外旧宅と森鷗外記念館の活用	○			
		郷土館の整備・充実	○			○
		西周記念館構想の検討	○		○	○
		墓所・石碑等の調査と保存・活用	○			○
	群づくりの取組の骨子	「人材」をテーマとした調査・研究と成果等の活用	○			○
		「人材」をテーマとした広域的な交流・連携（市町、研究機関、個人など）	○			○
		藩校養老館や旧居・旧宅等における「人材育成」に関わる展示・情報提供の充実	○			○
■城跡を中心とした関連文化財群【中世・近世の山城群】	個別（以下、省略）	津和野城跡の保存・活用 ・石垣の修復 ・郭、建物跡等の遺構の保存・活用 ・登城路等の遺構の保存・活用 ・馬場先櫓、物見櫓の保存・活用 ・藩御殿等の復元 ・津和野城跡の環境整備：樹木・竹、登山道（登城路）・ルート、サイン、草刈り　など	○		○	○
		その他の中世山城跡の調査と保存・活用（津和野城跡以外） ・文化財指定の検討 ・登城路（登山道）の確保・整備 ・草刈りなどの維持管理　など	○			○
	群づくり（以下、省略）	城跡に関わる調査・研究と成果等の活用	○			○
		城跡めぐりを軸とした周遊ネットワークの形成 ・多様なコースづくり ・道、サインの整備	○			○
		街道を生かしたネットワークづくり	○			○
		山城（跡）に関わる広域的なネットワークづくり ・代表的な山城のある地域 ・津和野と関わりの深い山城のある地域				○

注）文：文化財保護制度の活用を意図
景：景観法の活用を意図
歴：歴史まちづくり法（歴史的風致維持向上計画）の活用を意図
他：その他（個々のまちづくりに関する支援制度、単独事業など）

表2-1-1　関連文化財群における取組の骨子（２／４）

関連文化財群【名称】		取組の骨子（文化財の保存・活用の取組の骨子と手法）		要検討の法制度等			
				保護・保全の手法		支援制度	
				文	景	歴	他
■城下町に関わる史跡や建造物、民俗文化を中心とした関連文化財群【近世城下町の史跡と文化】	□近世城下町の史跡群に関する関連文化財群【城下町史跡群】	個別	城下町関連史跡の調査・研究と文化財指定への対応（保存）	○			○
			城下町関連史跡の整備・活用	○	○		○
		群づくり	城下町史跡群のネットワークづくり ・道の整備（舗装の工夫など） ・サインの整備 ・情報提供：パンフレット、インターネット、携帯電話の活用 ・ボランティアガイドの育成・支援	○			○
	□城下町の民俗芸能に関する関連文化財群【小京都文化の伝統行事】	個別	城下町に関わる民俗芸能の継承・活用	○		○	○
			民俗芸能の衣装・道具及び保管施設等の整備	○		○	○
			後継者（担い手）の確保・育成	○			○
		群づくり	関連資料の調査・研究と成果等の活用	○			○
			鷺舞神事等の行事のルートや踊る場所等の情報提供の充実	○		○	○
	□キリスト教と乙女峠祭に関する関連文化財群【維新の中のキリスト教の歴史と文化】	個別	教会、神父館の保存・修理	○		○	○
		群づくり	津和野町におけるキリスト教に関わる歴史文化の調査・研究と成果等の活用	○			○
			巡礼の道の案内表示の整備・充実			○	○
	□花まつりに関する関連文化財群【花まつりと仏教文化】	個別	関連寺院の保存・修理	○		○	○
		群づくり	花まつりに関わる歴史文化の調査・研究と成果等の活用	○			○
			花まつりのルートの紹介	○			○
			花まつりに関わる情報提供や発信	○			○
	□水源地と水路に関する関連文化財群【城下町の水文化】	個別	水路遺構の保存・活用	○		○	○
			水路の維持管理	○			○
			庭園や煎茶の文化の継承・活用	○		○	○
		群づくり	歴史的な水路網の調査と再構築	○		○	○
			森林の保全		○		○
			河川環境の保全・整備		○		○
			旧城下町における食文化の継承・活用				○

表2-1-1　関連文化財群における取組の骨子（３／４）

関連文化財群【名称】	取組の骨子（文化財の保存・活用の取組の骨子と手法）		要検討の法制度等			
			保護・保全の手法		支援制度	
			文	景	歴	他
■銅山とたたら場跡を中心とした関連文化財群【天領と鉱山と産業文化の遺産】	個別	銅山遺構の保存・整備・活用	○			○
		たたら場跡の保存・整備・活用	○			○
		歴史民俗資料館等における銅山・たたら場に関わる展示の充実	○			○
		鉱山跡やたたら場跡の見学・体験の検討	○			○
	群づくり	広域的な連携による鉱山やたたら場、産業文化に関わる調査・研究と成果等の活用	○			○
		たたら場跡の実態調査	○			○
		鉱山と産業文化をめぐるネットワークづくり	○			○
■堀氏の鉱山経営と地域の暮らしに関する関連文化財群【堀氏の鉱山経営と地域文化】	個別	旧堀氏庭園の保存・整備・活用	○		○	○
		旧畑迫病院の保存・整備・活用	○		○	○
		旧川園の保存・整備・活用	○		○	○
		堀氏文書の保存・活用	○			○
		晩越水力発電所跡の保存・活用	○			○
		その他堀氏関係の文化財の保存・活用	○			○
	群づくり	堀氏関係の歴史や文化財の調査・研究と成果等の活用	○			○
		堀氏関係の文化財の探訪ネットワークづくり	○		○	○
		堀氏関係の文化財を通じた広域的なネットワークづくり				○
		地域活動団体との連携とまちづくり				○
■街道・舟運の遺産を中心とした関連文化財群【街道・舟運の文化と遺産】	個別	山陰道の調査・研究（把握）と保存・整備・活用	○		○	○
		津和野・廿日市街道や奥筋往還などの調査・研究（把握）と保存・整備・活用	○			○
		舟運に関わる文化財の調査・把握と保存・活用	○		○	○
		山口線に関わる文化財の調査・研究と保存・活用	○			○
	群づくり	街道・舟運に関わる調査・研究と成果等の活用	○			○
		街道を生かしたネットワークづくり	○	○		○
		舟運・川船の体験の検討				○
		広域的な連携による山口線の活用				○

表2-1-1　関連文化財群における取組の骨子（４／４）

関連文化財群【名称】	取組の骨子（文化財の保存・活用の取組の骨子と手法）		要検討の法制度等			
			保護・保全の手法		支援制度	
			文	景	歴	他
■多彩な歴史的建造物を中心とした関連文化財群【建造物が語る歴史と文化】	個別	旧城下町における歴史的建造物の保存・活用（藩御殿や門の復元など）	○		○	○
		寺社建築の保存・活用の検討	○			○
		農家・商家などの歴史的建造物の調査・研究と保存・活用の検討	○		○	○
		石見瓦（赤瓦）の景観の継承・活用	○	○	○	○
		石垣等の保存・整備・活用	○			○
		伝統的建造物群保存地区の指定に向けた取組	○		○	○
	群づくり	歴史的建造物に関わる調査・研究と成果等の活用	○			○
		歴史的建造物と他の地域資源との連携による活用	○			○
		歴史的建造物をめぐるネットワークづくり				○
■多彩な農村文化を中心とした関連文化財群【山間に息づく農村文化】	個別	石見神楽の継承・活用	○			○
		田植え囃子の継承・活用と棚田等の保全	○			○
		社叢の保存	○			○
		荒神森や信仰などの継承（森、祠、行事など）	○			○
		地芝居（木部地区）の継承・活用	○			○
	群づくり	農村の食文化の調査・研究と継承・活用	○			○
		和紙の生産と和紙に関わる物語・行事の伝承	○			○
		養蚕の歴史文化の保存・活用	○			○
		農家建築の調査・研究と保存・活用	○			○
■山と森に関する関連文化財群【森林文化と信仰】	個別	山や森林の保全・活用	○	○		○
		山岳信仰やそれに関わる文化財の保存・継承	○			○
		山や森の生業に関わる文化財の保存・活用	○			
	群づくり	山や森に関わる自然遺産の調査・研究と成果等の活用	○			○
		山や森の生業に関わる文化財の調査･研究とネットワーク的な活用	○			○
■通史的な関連文化財群【縄文から現代に至るまでのたゆまない営み“連綿と続く津和野の歴史と文化”】	個別	縄文遺跡などの保存・活用：高田、大蔭地区における縄文の里（仮称）づくりの検討	○		○	○
		その他、各関連文化財群（テーマ）における取組の推進				
	群づくり	主要な文化財によるテーマと時代をつなぐネットワークづくり	○		○	○

＜共通する事項＞群（つながり）づくりの方針と手法		住民参加による継続的な文化財の調査	○			○
		住民参加による文化財の保存・活用の体制と人づくり	○	○	○	○
		住民参加による文化財の維持管理と活用	○	○	○	○
		サイン計画の策定（現状把握を含む）とサインのネットワーク的整備	○		○	○
		情報の提供と受発信の充実	○	○	○	○
		公開・活用施設等のネットワークづくり	○		○	○
		テーマ等による周辺地域（自治体）との連携や広域的なネットワークづくり	○	○		○
		文化財を生かした体験・学習機会の確保や催しなどの開催	○			○

■文化財の保存・活用の主要な方策（法制度）

文化財保護制度（文化財保護法）

○文化財の６類型
- 有形文化財：建造物、美術工芸品
- 無形文化財：演劇・音楽・工芸技術等
- 民俗文化財：無形民俗文化財、有形民俗文化財
- 記念物：史跡、名勝、天然記念物
- 文化的景観：景観地
- 伝統的建造物群：伝統的な建造物群

○埋蔵文化財

○文化財の保存技術

指定

＜法的措置＞
○規制
○現状変更等の許可申請
＜行政的措置＞
○土地公有化
○保存管理計画の策定
○維持管理
＜技術的措置＞
○保存施設
○防災施設
○遺構整備など
＜活用＞
○ガイダンス施設
○公開・情報発信など

景観法（津和野町景観計画）

○計画の背景と目的
○津和野町の歴史と景観の状況
○計画の基本理念と方針
○景観づくりの基本的事項
- 景観計画による事項
- 景観計画区域
- 景観形成地区
- 景観地区の指定
- 景観遺産
- 重要公共施設

○今後の景観づくりの取り組み

歴史まちづくり法

認定歴史的風致維持向上計画

＜重点的な支援＞

■法律上の特例措置
- 歴史的風致形成建造物
- 都市公園
- 電線共同溝
- 農業用用排水施設
- 文化財保護
- 屋外広告物

など

■各種事業による支援
- 歴史的環境形成総合支援事業
- 都市公園事業
- まちづくり交付金
- 街なみ環境整備事業

など

■その他
- 歴史的風致維持向上地区計画
- 歴史的風致維持向上支援法人

その他

■その他制度・事業（国、県など）

■津和野町独自の制度、事業などの検討

文化財の個々・群・区域としての保存・活用の方策の明確化 ↓ 具体的取組への展開

第２節　関連文化財群ごとの取組内容

１　人材育成に関わる関連文化財群【藩校養老館と多彩な人材の輩出】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～藩校養老館と多彩な人材の輩出～

①　藩校養老館の修理・復元と活用

○　往時の姿の復原と利活用などを考慮しながら、藩校養老館の修理・復元を図る。

○　修理・復元した藩校養老館においては、関連する資料等の展示などを行うとともに、津和野学・地域学、生涯学習の場などとして活用する。

○　津和野川を隔てて隣接する郷土館との連携を図り、津和野町の歴史文化に関する拠点機能を担うとともに、森鷗外記念館や安野光雅美術館、歴史民俗資料館などをサテライトとする形で連携し、ネットワーク的な利用促進と相乗効果の発揮に努める。

②　藩校養老館及び教育・文化に関わる文書・史料の調査・研究と保存・活用

○　全国的な視点と研究者等の協力・参加を得ながら、藩校養老館及びその教育・文化に関わる文書・史料の調査・研究を図る。

○　藩校養老館の修理・復元と合わせて、調査・研究成果などの展示や情報公開などに取り組む。

③　旧宅・居宅の保存・活用

○　森鷗外旧宅や西周旧居、岡熊臣旧宅などについては、適切な維持管理に努めながら、必要に応じて保存・修理を図る。

○　その他先哲の旧宅・旧居を含め、情報提供や歴史探訪の機会の確保などに努めながら、歴史学習や観光などによる利用を促進する。

④　森鷗外旧宅と森鷗外記念館の活用

○　森鷗外旧宅と森鷗外記念館との一体的な利用を促進する。

○　他の文化施設や文化財などとのネットワーク的な利用を促進する。

⑤　郷土館の整備・充実

○　藩校養老館との連携を進めながら、郷土館の施設の整備・充実や展示等の内容の充実及び体制の強化を図り、両者を津和野町の歴史文化に関する拠点機能を担うようにする。

○　郷土館において、文化財資料の収集・保管・



藩校養老館



森鷗外旧宅



西周旧居

データベース化及び公開を行う「文化財資料センター（仮称）」機能の整備を図る。

⑥　西周記念館構想の検討

○　西周の生い立ちや業績などの展示、資料の収集及び調査・研究、情報発信や学習などの拠点となる「西周記念館（仮称）」の整備に関わる構想の策定を検討する。

⑦　墓所・石碑等の調査と保存・活用

○　歴史的・文化的な価値の高い墓石の把握と調査及び適切な保存を図るとともに、関係者の理解と協力のもとに、その公開や情報発信などを検討する。

○　石碑や灯籠などの石造物の把握と調査を行い、その保存や活用について検討する。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～藩校養老館と多彩な人材の輩出～

①　「人材」をテーマとした調査・研究と成果等の活用

○「人材」をテーマとして、関係する生い立ちや歴史、史料、ゆかりの場所、遺跡などの調査・研究を進めるとともに、その成果の情報発信など活用に努める。

②　「人材」をテーマとした広域的な交流・連携

○「人材」をテーマとして、関係するゆかりの場所などの把握・調査を進め、その自治体や地域、個人などとの交流・連携を検討する。

○　関係する「人材」の研究者や研究機関などとの交流・連携を図る。

③　藩校養老館や旧居・旧宅等における「人材育成」に関わる展示・情報提供の充実

○　藩校養老館において、人材育成の思想や人材の輩出、業績などに関わる展示・情報提供の充実を図る。

○　森鷗外旧宅、西周旧居、岡熊臣旧宅などにおいて、それぞれの生い立ちや家庭環境、業績などに関わる展示・情報提供の充実を図る。



亀井茲監公頌徳碑



山辺丈夫の碑



福羽美静の碑



大国隆正の碑

＜嘉楽園に設置されている碑＞

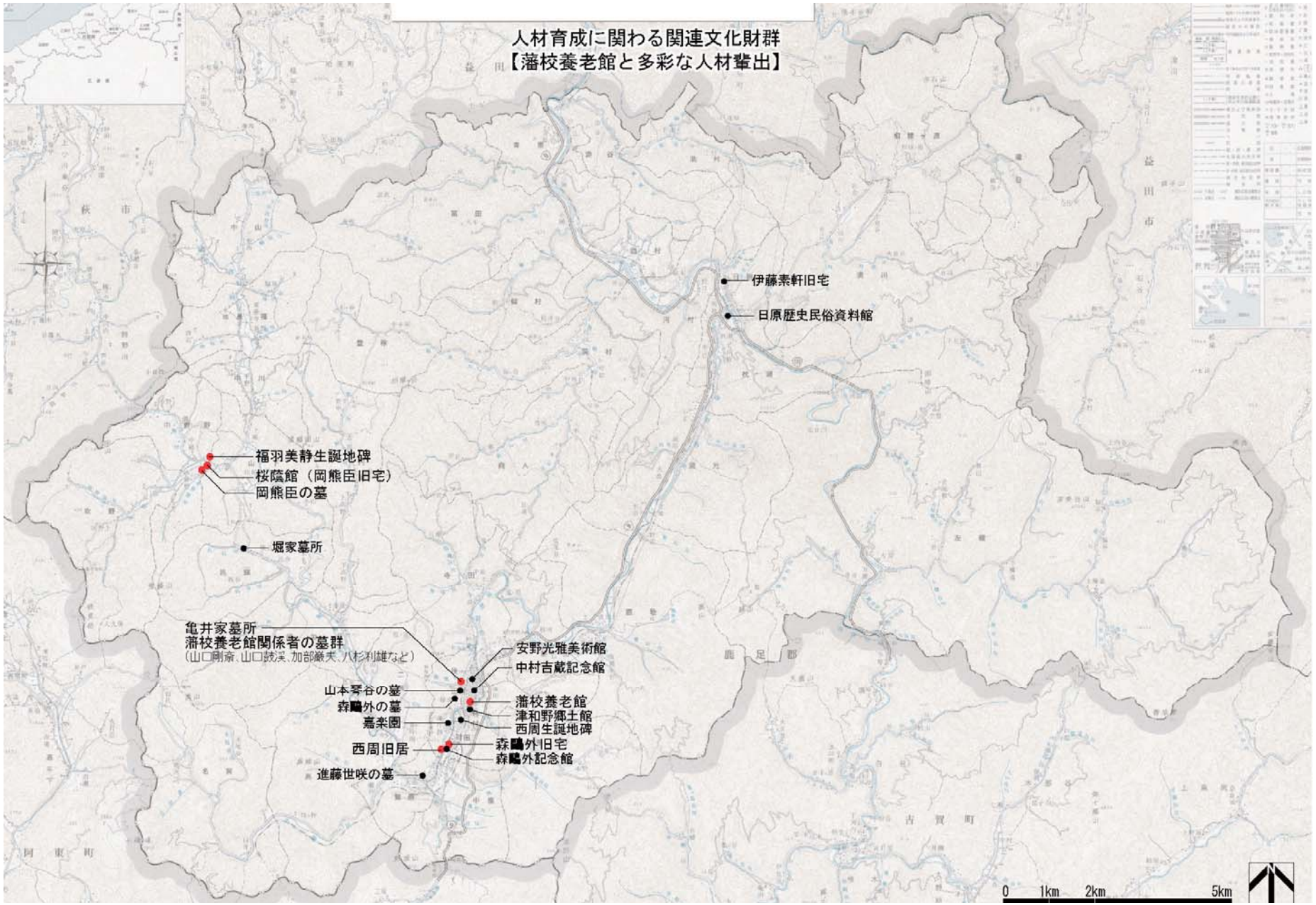

図2-1-1　人材育成に関する関連文化財群【藩校養老館と多彩な人材の輩出】（主要な文化財及び文化施設）

２　城跡を中心とした関連文化財群【中世・近世の山城群】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～中世・近世の山城群～

①　津和野城跡の保存・活用

ア　石垣の修復

○　津和野城跡（山城跡）については、崩落した箇所やはらんでいる部分など石垣の修復を段階的に進め、見学できる範囲を広げていく。

○　石垣の修復においては、影響を与えている樹木の扱いについて検討する。



津和野城跡：本丸の三十間台など



津和野城跡：天守台北側（一部石垣の崩落）



津和野城跡：東門付近

イ　郭、建物跡等の遺構の保存・活用

○　津和野城跡（山城跡）の郭については、建物跡等の調査を進め、遺構の露出展示や表示などを検討する。

○　郭（出丸など）を生かした茶会などの催し・イベントの開催を促進する。

ウ　登城路等の遺構の保存・活用

○　登城路等の調査を進めながら、遺構の保存と合わせて、遺構を生かした登城路等や歴史的なルートの整備・充実に努める。

○　サイン等の整備や情報提供と合わせて、歴史的なルートの利用を促進する。

エ　馬場先櫓・物見櫓の保存・活用

○　津和野城跡の山麓部の馬場先櫓、物見櫓の保存を図る。

○　馬場先櫓や物見櫓等に関わる情報提供などに努めるとともに、馬場先櫓、物見櫓の活用を図る。

オ　藩御殿等の復元

○　津和野城跡や山麓部の物見櫓、馬場先櫓、嘉楽園と一体的に藩御殿跡の整備、さらには復元について検討する。



馬場先櫓



物見櫓

カ　津和野城跡の環境整備

○　遺構の保護や景観、自然環境の保全などに配慮しながら、遺構周辺の樹木等の整備について検討する。

○　竹林の状況を調査し、竹林の拡大防止などの対策を検討する。

○　登城路等を含め、山城跡のルートやサインの整備・充実を図る。

○　郭や登城路及びその他ルートなどにおける草刈り等の維持管理に努める。

②　その他の中世山城跡の調査と保存・活用

ア　文化財指定の検討

○　山城跡の調査を段階的・計画的に進め、一定水準以上の価値が認められたものについては、文化財指定を検討する。

イ　登城路（登山道）の確保・整備

○　下瀬山城跡や御嶽山城などは、現状において登山道（登城路）があり、地域住民や地域活動団体と連携しながら、その維持管理と部分的な整備に努める。

○　その他の山城は、現状では本丸等に行くのは容易ではないが、地域住民や地域活動団体と連携しながら、登山道（登城路）を確認するとともに、ルートにおける草木の除去や部分的な整地などを検討する。

○　登山道（登城路）沿いや郭においては、眺望や休憩の場の確保に努める。

○　登山道（登城路）のある山城跡については、山麓部や主要な遺構部分に案内・説明板等の整備に努める。

○　登山（登城）が難しい山城跡についても、アクセスしやすい麓などにおいて眺望点を確保し、説明板等の整備を検討する。

ウ　維持管理への対応

○　地域住民等の理解と協力・参加のもと、登城路や郭などの草刈り、定期的な点検などを行う。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～中世・近世の山城群～

①　城跡に関わる調査・研究と発信・啓発

○　城跡に関わる調査・研究を進めながら、その成果を情報発信（提供）するとともに、住民等の文化財への関心を高めることや保存・活用の意識啓発に努める。

②　城跡めぐりを軸とした周遊ネットワークの形成と利用促進

ア　多様なコースづくり

○　登山（登城）が難しい山城跡を含め、全町的な城跡をめぐるルートの確保に努める。

○　時間や興味、体力などに応じたルートが選択できるよう、幾つかのコースを設定するとともに、パンフレットなどを作成し、情報提供を図り、利用を高める。

○　城跡をめぐるルート（コース）づくりにおいては、他の文化財の探訪や自然探勝、休憩などができるように配慮する。

イ　道、サインの整備

○　山城跡付近へのアクセスや登城路等の確保及び整備・充実に努める。

○　城跡をめぐるルート沿いなどにおいては、統一的なデザインによる案内板や説明板、誘導標識を計画的に配置する。

③　街道を生かしたネットワークづくり

○　山陰道や津和野・廿日市街道、奥筋往還及び塩街道、銅山・馬車街道の保存・活用を図るとともに、これら歴史的な道（街道）を生かしたルートづくり及び周遊ネットワークの形成に取り組む。

④　山城（跡）に関わる広域的なネットワークづくり

ア　代表的な山城のある地域との交流

○　近世山城のある地域との交流について検討する。

イ　津和野と関わりの深い山城跡のある地域との交流

○　津和野と関わりに深い山城のある地域との交流について検討する。

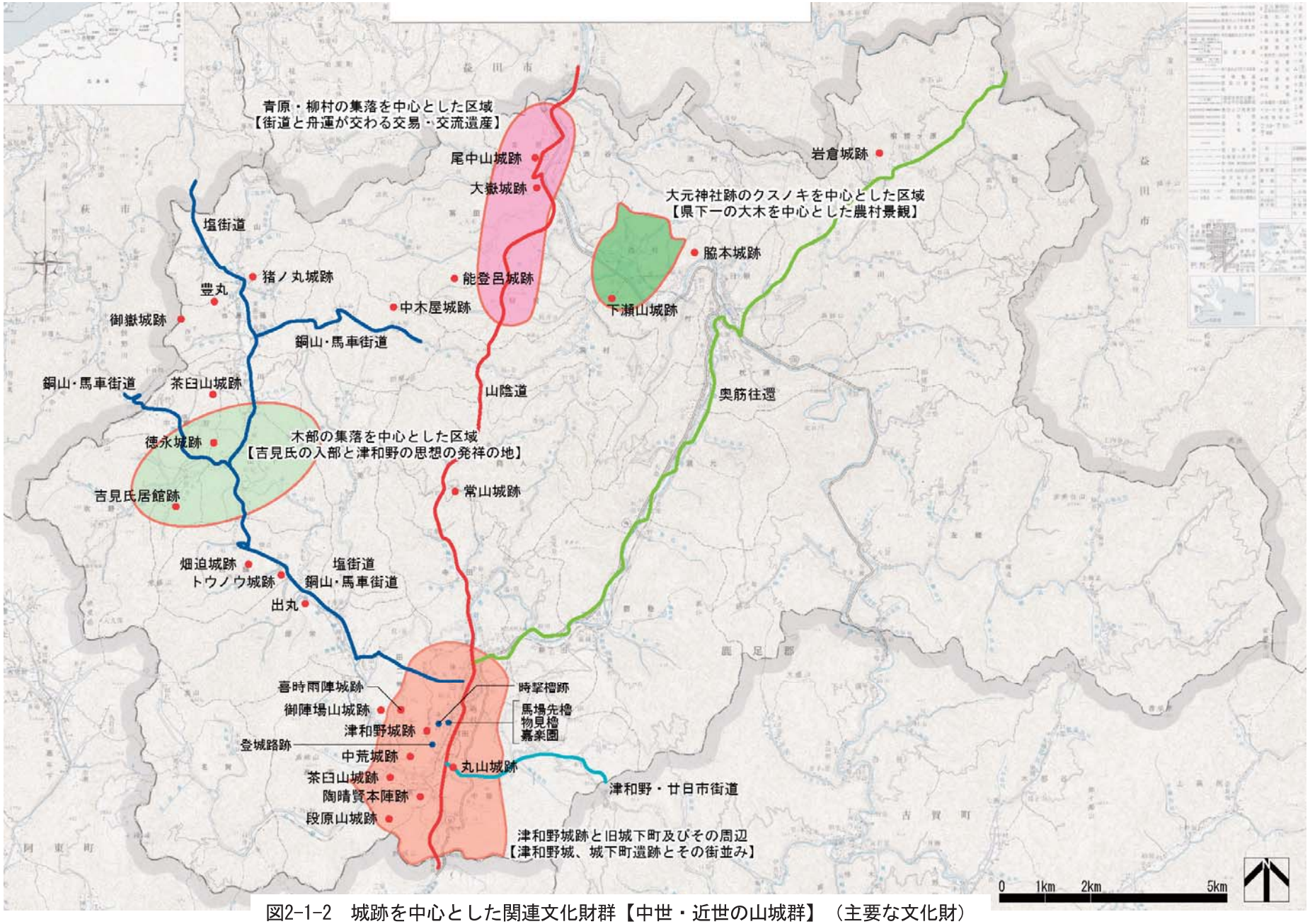

図2-1-2　城跡を中心とした関連文化財群【中世・近世の山城群】（主要な文化財）

３　城下町に関わる関連文化財群【城下町の史跡と文化】の取組内容

３－１　近世城下町の史跡群に関する関連文化財群【城下町史跡群】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～近世城下町の史跡群～

①　城下町関連史跡の調査・研究と文化財指定への対応（保存）

○　城下町史跡群の調査・研究を進め、その結果を踏まえて文化財指定を図る。

②　城下町関連史跡の整備・活用

○　城下町史跡群の調査・研究の調査を踏まえながら、関係権利者の理解と協力のもとに、整備・活用を検討する。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～近世城下町の史跡群～

①　城下町史跡群のネットワークづくり

ア　道の整備

○　城下町史跡群やその他文化財などをつなぐ多様な周遊ルート（時間や内容など）を設定するとともに、安全・安心で快適に歩行やサイクリングができる環境づくりに努める。

イ　サインの整備

○　周遊ルート沿いなどにおいては、デザイン化した案内板や誘導標識などの設置や更新を進める。

ウ　情報提供：パンフレット、インターネット、携帯電話の活用

○　城下町遺跡など文化財に関するパンフレット等の作成・充実を図る。

○　インターネットや携帯電話を活用した情報の提供を進める。

エ　ボランティアガイドの育成・支援

○　関係団体と連携しながら、ボランティアガイドの育成・支援に努める。

※【城下町の史跡と文化】に関わる他の関連文化財群（３－２～３－５）も同様



津和野城跡と旧城下町

３－２　城下町の民俗芸能に関する関連文化財群【小京都文化の伝統行事】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～小京都文化の伝統行事～

①　城下町に関わる民俗芸能の継承・活用

○　祇園祭における鷺舞神事や鷲原八幡宮の流鏑馬神事、津和野踊など、城下町に関わる民俗芸能を継承し、地域文化やコミュニティ、観光の振興などにも活用する。

②　民俗芸能の衣装・道具及び保管施設等の整備

○　指定文化財をはじめとした民俗芸能に関わる衣装・道具等の修理や確保の支援とともに、保管施設の整備を図る。

③　後継者（担い手）の確保・育成

○　関係団体などと連携しながら、民俗芸能の後継者・担い手の確保・育成を図る。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～小京都文化の伝統行事～

①　関連資料の調査・研究と成果等の活用

○　小京都文化を伝える伝統行事に関し、関連する資料の調査・研究を進めるとともに、その成果の情報提供など活用に努める。

②　鷺舞神事等の行事のルートや踊る場所等の情報提供の充実

○　鷺舞神事等の行事のルートや踊る場所等の情報を、観光客などに分かりやすく情報提供する。



弥栄神社の鷺舞（国指定重要無形民俗文化財）



津和野踊（県指定無形民俗文化財）

３－３　キリスト教と乙女峠に関する関連文化財群【維新の中のキリスト教の歴史と文化】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～維新の中のキリスト教の歴史と文化～

①　教会、神父館の保存・修理

○　登録有形文化財に指定されている津和野カトリック教会及び神父館について、適切な修理を行い、保存する。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～維新の中のキリスト教の歴史と文化～

①　津和野町におけるキリスト教に関わる歴史文化の調査・研究と成果等の活用

○　津和野町におけるキリスト教の歴史文化の調査・研究を進めるとともに、その成果の情報提供など活用に努める。

○　津和野町におけるキリスト教の歴史文化について、学校教育や生涯学習などで学ぶ機会を確保する。

②　巡礼の道の案内表示の整備・充実

○　乙女峠に至る巡礼の道に関わる説明板・案内板や名称表示などの整備・充実を図る。

３－４　花まつりに関する関連文化財群【花まつりと仏教文化】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～城下町の水文化～

①　関連寺院の保存・修理

○　指定文化財である永明寺の保存・修理を図る。

○　その他花まつりに関係する寺院の保存・修理について検討する。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～城下町の水文化～

①　花まつりに関わる歴史文化の調査・研究と成果等の活用

○　花まつりに関わる歴史文化の調査・研究を進めるとともに、その成果の情報提供など活用に努める。

②　花まつりのルートの紹介

○　花まつりのルートについて、住民や観光客に情報提供する。

③　花まつりに関わる情報提供や発信

○　観光協会などを通じて、花まつりの由来や開催状況などについての情報提供やインターネット等での情報発信を支援する。

３－５　水に関する関連文化財群【城下町の水文化】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～城下町の水文化～

①　水路遺構の保存・活用

○　歴史的な水路遺構の調査を進めながら、その保存・活用に努める。

②　水路の維持管理

○　地域住民等の協力と参加を得ながら、水路の適切な維持管理に取り組む。

③　庭園や煎茶の文化の継承・活用

○　旧城下町などにおいて、水と関わりの深い歴史的な庭園の保存や煎茶文化の継承を図るとともに、その活用を進める。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～城下町の水文化～

①　歴史的な水路網の調査と再構築

○　絵図や古い地図、水路に関わる公共工事の記録などをたどりながら、歴史的な水路網の調査を進める。

○　歴史的な水路網の再生の可能性について調査・検討する。

②　森林の保全

○　豊で清らかな水が、旧城下町においても持続的に確保されていくよう、森林の保全を地域ぐるみで進める。

③　河川環境の保全・整備

○　城下町の風情と調和する形で、津和野川の保全・整備を図る。

④　旧城下町における食文化の継承・活用

○　酒や菓子づくり、煎茶、祝の日の料理など旧城下町の食文化の調査・研究を進めるとともに、その成果の情報提供など活用に努める。

○　食文化の体験機会、学習機会の確保やイベントの開催を検討する。



鯉の泳ぐ水路

４　銅山とたたら場跡を中心とした関連文化財群【天領と鉱山と産業文化の遺産】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～天領と鉱山と産業文化の遺産～

①　銅山遺構の保存・整備・活用

○　笹ヶ谷銅山跡及び日原銅山跡の調査・研究を進めながら、関連遺構の保存・整備・活用を図る。

②　たたら場跡の保存・整備・活用

○　現在確認しているたたら場跡の調査・研究を進めながら、その保存・整備・活用を図る。

○　その他たたら場跡の確認作業と調査・研究に努める。

③　歴史民俗資料館等における銅山・たたら場に関わる展示の充実

○　今後の調査・研究や保存・整備の状況を踏まえながら、日原歴史民俗資料館における銅山・たたら場に関わる展示の充実を図る。

○　郷土館における銅山・たたら場に関わる展示の充実を図る。

○　旧笹ヶ谷銅山の位置する地部地区において、学校校舎の一部を活用した銅山資料室等の整備を検討する。

④　鉱山跡やたたら場跡の見学・体験の検討

○　笹ヶ谷銅山跡や日原銅山跡をはじめとした鉱山跡、たたら場跡の見学・体験機会の確保について検討する。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～天領と鉱山と産業文化の遺産～

①　広域的な連携による鉱山やたたら場、産業文化に関わる調査・研究と成果等の活用

○　石見銀山遺跡の調査など広域的に連携しながら、津和野町の鉱山やたたら場をはじめとした産業文化に関わる調査・研究を進めるとともに、その状況や成果の情報提供など活用に努める。

②　たたら場跡の実態調査

○　確認しているたたら場跡の実態調査を行い、その保存・活用の課題や方策などを検討する。

○　未確認のたたら場跡を含め、町内のたたら場跡の把握と調査・研究を進める。

③　鉱山と産業文化をめぐるネットワークづくり

○　町内における鉱山跡やたたら場跡、その他伝統的な産業や棚田など産業に関わる歴史文化をめぐるネットワークづくり・コースづくりに努める。

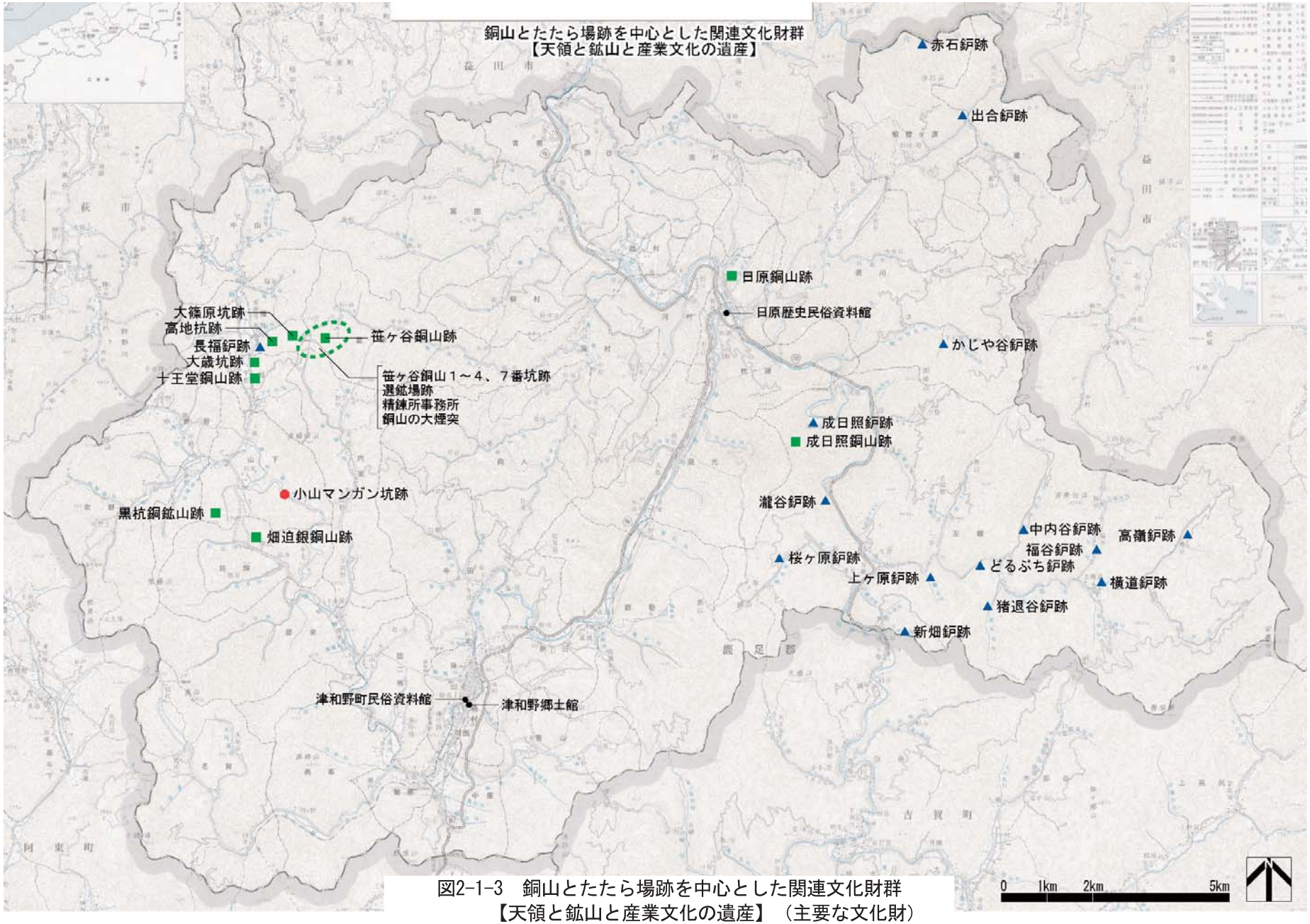

図2-1-3　銅山とたたら場跡を中心とした関連文化財群
【天領と鉱山と産業文化の遺産】（主要な文化財）

５　堀氏の鉱山経営と地域の暮らしに関する関連文化財群【堀氏の鉱山経営と地域文化】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～堀氏の鉱山経営と地域文化～

①　旧堀氏庭園の保存・整備・活用

○　旧堀氏庭園の保存管理計画の策定を図り、それに基づき保存・整備・活用を進める。

②　旧畑迫病院の保存・整備・活用

○　旧畑迫病院の修理・復元に取り組み、その活用を図る。

○　近代化遺産の観点からも、他の文化財との関連づけや活用を検討する。

③　旧川園の保存・整備・活用

○　旧川園の実態調査を行い、それを踏まえて保存・整備・活用を検討する。

④　堀氏文書の保存・活用

○　堀氏に関わる古文書の調査・研究を継続的に行い、その保存・活用を図る。

⑤　晩越水力発電所跡の保存・活用

○　堀氏に関わる晩越水力発電所跡の実態調査を行い、その保存・活用を図る。

○　近代化遺産の観点からも、他の文化財との関連づけや活用を検討する。

⑥　その他堀氏関係の文化財の保存・活用

○　その他堀氏に関わる遺構や民俗芸能などの調査を進め、その保存・活用を検討する。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～堀氏の鉱山経営と地域文化～

①　堀氏関係の歴史や文化財の調査・研究と成果等の活用

○　堀氏関係の歴史や文化財の調査・研究を進めるとともに、その状況や成果の情報提供など活用に努める。

②　堀氏関係の文化財の探訪ネットワークづくり

○　畑迫地区及び笹ヶ谷銅山跡一帯において、堀氏関係の文化財をめぐるコースづくりや道の整備など、探訪ネットワークの形成を図る。

○　晩越水力発電所などを含め、堀氏関係の文化財をめぐる探訪ネットワークの形成を図る。

③　堀氏関係の文化財を通じた広域的なネットワークづくり

○　広域的な視点から、関係自治体等との連携を図りながら、堀氏関係の文化財をめぐる探訪ネットワークの形成に努める。

④　地域活動団体との連携とまちづくり

○　畑迫地区などにおける歴史文化やまちづくりなどに関わる地域活動団体と連携しながら、堀氏に関わる文化財の保存・活用や民俗芸能の復活、堀氏関係の史料にも登場するホタルのすむ里づくりなどを支援する。

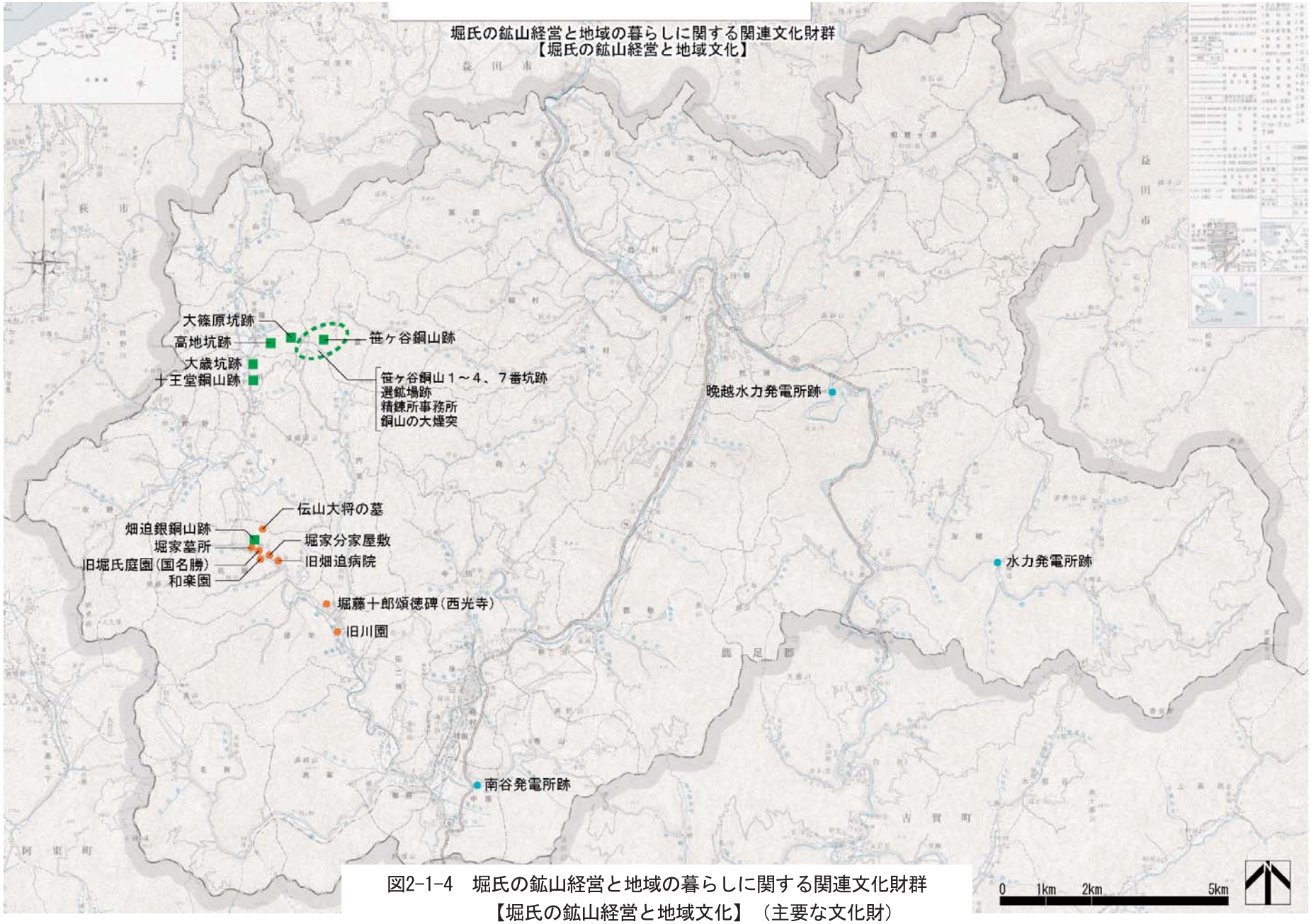

図2-1-4　堀氏の鉱山経営と地域の暮らしに関する関連文化財群
【堀氏の鉱山経営と地域文化】（主要な文化財）

６　街道と舟運の遺産を中心とした関連文化財群【街道と舟運の文化と遺産】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～街道と舟運の文化と遺産～

①　山陰道の調査・研究（把握）と保存・整備・活用

○　山陰道の調査・研究を進めながら、関連遺構の保存・整備・活用を図るとともに、情報提供や学習機会の確保に努める。

○　史跡山陰道徳城峠越・野坂峠越については、保存管理計画に基づき、その保存・整備・活用を図る。

②　津和野・廿日市街道や奥筋往還などの調査・研究（把握）と保存・整備・活用

○　津和野・廿日市街道や奥筋往還、塩街道、銅山馬車街道などの調査・研究を進めながら、その成果などの情報提供や学習機会の確保に努めるとともに、サインの設置など説明・周知に取り組む。

○　街道の遺構や往時の風情を感じさせる場所などについては、保存・整備を検討する。

③　舟運に関わる文化財の調査・把握と保存・活用

○　舟運に関わる調査・研究を進めながら、その成果などの情報提供や学習機会の確保に努めるとともに、往時の渡し場などへのサインの設置を検討する。

○　川船や櫓、文献など舟運に関わる文化財の収集・展示に努める。

④　山口線（ＳＬ運行）に関わる文化財の調査・研究と保存・活用

○　山口線に関わる調査・研究を進めながら、その成果などの情報提供や学習機会の確保に努めるとともに、保存・活用に努める。

○　近代化遺産の観点からも、他の文化財との関連づけや活用を検討する。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～街道と舟運の文化と遺産～

①　街道・舟運に関わる調査・研究と成果等の活用

○　街道・舟運に関わる調査・研究を進めるとともに、その状況や成果の情報提供など活用に努める。

○　郷土館や日原歴史民俗資料館などにおいて、街道・舟運に関わる展示・説明の充実を図る。

②　街道を生かしたネットワークづくり

○　山陰道や廿日市・津和野街道、奥筋往還など街道に関わる地域・自治体と連携し、歴史文化を生かした広域的な取組や交流を進める。

③　舟運・川船の体験の検討

○　舟運の歴史文化の体験学習を含めた高津川・川下りや、川船の体験などの機会の確保について検討する。

④　広域的な連携による山口線の活用

○　山口線に関わる歴史文化体験や山口線沿線の文化財めぐりなど、観光との連携を図りながら、文化財サイドからも山口線の活用に努める。

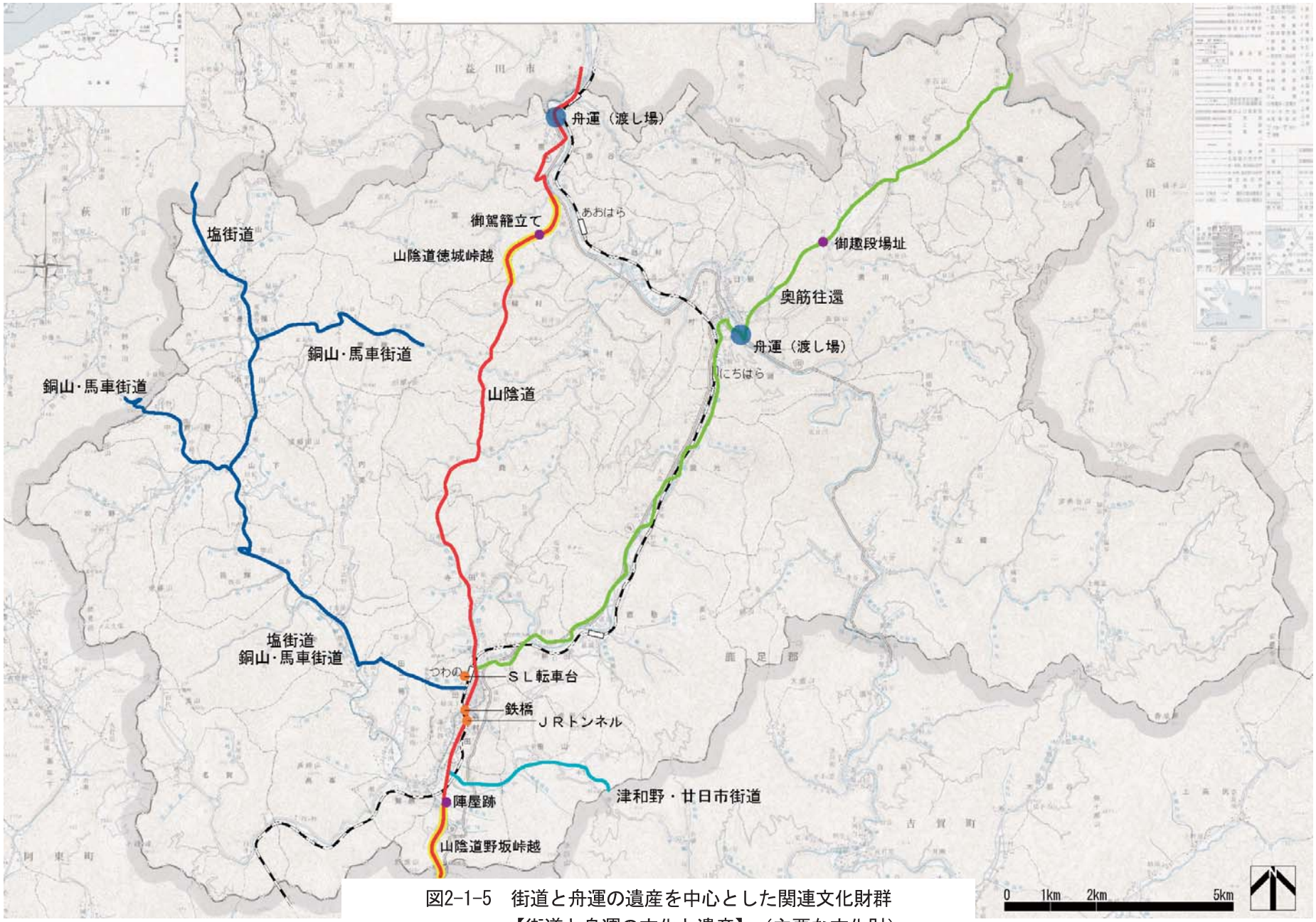

図2-1-5　街道と舟運の遺産を中心とした関連文化財群
【街道と舟運の文化と遺産】（主要な文化財）

7　多彩な歴史的建造物を中心とした関連文化財群【建造物が語る歴史と文化】の取組内容

（1）　個別的な取組内容～建造物が語る歴史と文化～

①　旧城下町における歴史的建造物の保存・活用（藩御殿や門の復元など）

○　旧城下町における指定文化財及び登録有形文化財となっている建築物の保存・活用に取り組む。

○　現在、未指定または未登録の歴史的建造物の保存・活用の方策を検討し、その具体化を図る。

②　寺社建築の保存・活用の検討

○　これまでの寺社建築の調査・研究を踏まえながら、その保存・活用について検討する。

○　繪絵の調査を行うとともに、その保存・活用を検討する。

③　農家・商家などの歴史的建造物の調査・研究と保存・活用の検討

○　農家・商家などの歴史的建造物の調査・研究を進めながら、その成果などの情報提供に努めるとともに、保存・活用について検討する。

○　寺社建築と合わせて、繪絵の調査を行うとともに、その保存・活用について検討する。

④　石見瓦（赤瓦）の景観の継承・活用

○　津和野町景観計画を生かしながら、石見瓦（赤瓦）が彩る街並み景観や田園景観の継承に努める。

○　地域住民等の理解と協力を得ながら、石見瓦（赤瓦）が彩る街並み景観や田園景観の情報発信に取り組むとともに、歴史文化や景観づくりを含めたまちづくり活動を促進する。

⑤　石垣等の保存・整備・活用

○　津和野城跡などの城跡の石垣に加え、館跡や棚田、水路などの歴史的な石垣の調査・研究を進めながら、その保存・整備・活用を進める。

⑥　伝統的建造物群保存地区の指定に向けた取組

○　旧城下町については、伝統的建造物群保存地区（重要伝統的建造物群保存地区）の選定に向けて取り組む。

（2）　群（つながり）づくりの取組内容～建造物が語る歴史と文化～

①　歴史的建造物に関わる調査・研究と成果等の活用

○　歴史的建造物に関わる調査・研究を進めるとともに、その成果等の情報提供など活用に努める。

○　調査・研究の成果については、「津和野の歴史的建造物～建築編～」（石垣編・・・）などとしての取りまとめを検討する。

②　歴史的建造物と他の地域資源との連携による活用

○　歴史的建造物と他の文化財、文化施設、観光施設などと連携した活用に努める。

③　歴史的建造物をめぐるネットワークづくり

○　他の地域資源との連携及び探訪時間や内容・テーマ等を考慮し、歴史的建造物をめぐる幾つかのコースづくりに取り組む。

例：武家と商家を訪ねる歴史ウォーク（２時間コース、半日コース）、津和野の石垣の魅力・再発見　など

○　歴史的建造物の再生やそれを生かしたまちづくりなどに関わる全町的な組織づくりを検討する。

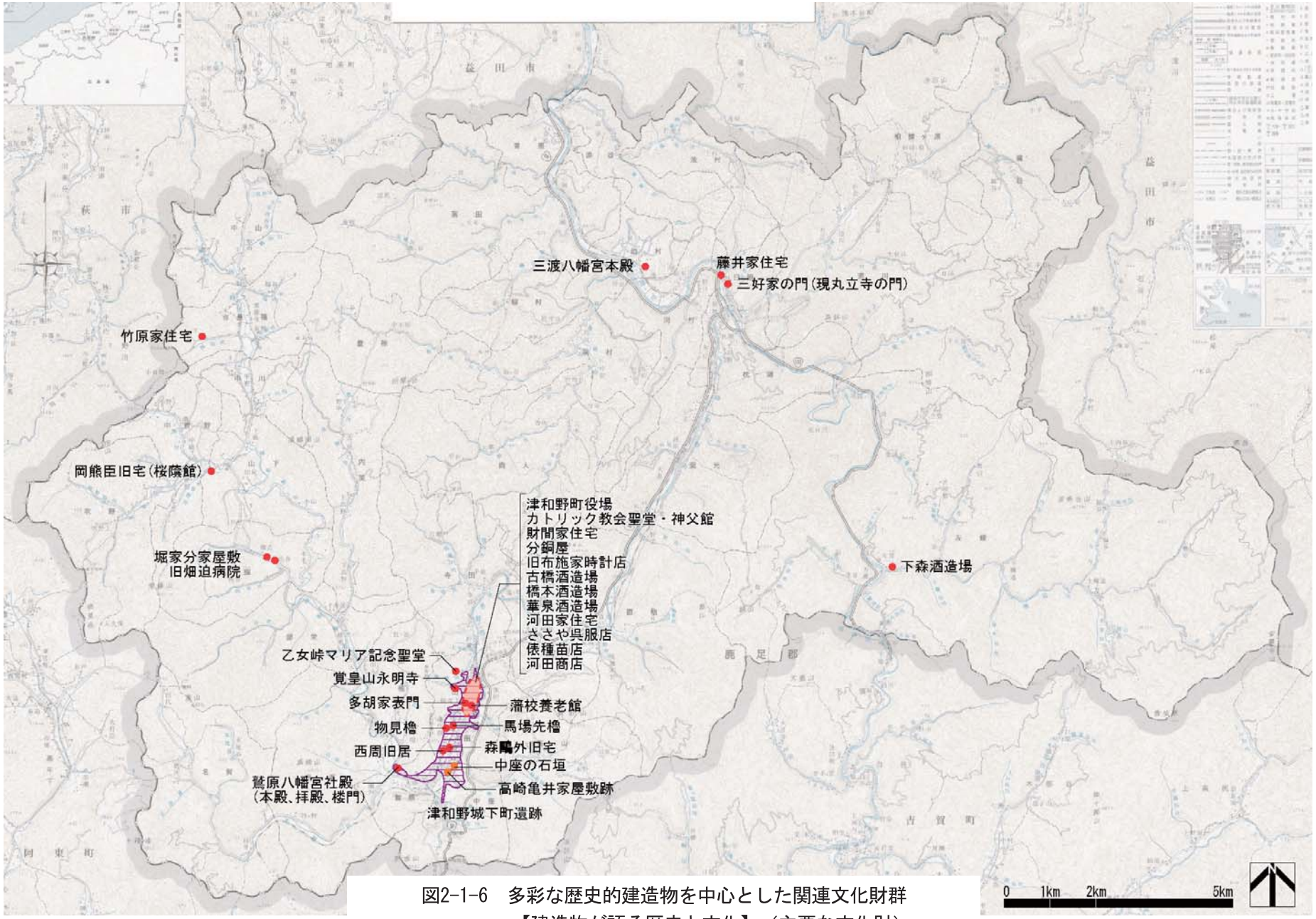

図2-1-6　多彩な歴史的建造物を中心とした関連文化財群
【建造物が語る歴史と文化】（主要な文化財）

８　多彩な農村文化を中心とした関連文化財群【山間に息づく農村文化】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～山間に息づく農村文化～

①　石見神楽の継承・活用

○　石見神楽の担い手の育成や用具の修理など継承に関わる取組の支援に努めるとともに、神楽団相互の交流・連携や神楽の上演などを促進する。

②　田植え囃子の継承・活用と棚田等の保全

○　田植え囃子の担い手の育成や用具の修理など継承に関わる取組の支援に努めるとともに、田植え囃子に関わる情報発信などに努める。

○　農家の支援を図るとともに、幅広いネットワークの活用などを検討しながら、棚田などの農地の保全に努める。

③　社叢の保存

○　神社の社叢の調査・把握を進めながら、その保全について検討する。

④　荒神森や信仰などの継承（森、祠、行事など）

○　荒神森やそれに関わる信仰・行事などを把握し、記録保存と合わせてその継承を促進する。

⑤　地芝居（木部地区）の継承・活用

○　木部地区における地芝居の継承を支援するとともに、情報発信などに取り組む。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～山間に息づく農村文化～

①　農村の食文化の調査・研究と継承・活用

○　農村の食文化の調査・研究を進めるとともに、その成果等の情報提供など活用に努める。

○　農村や旧城下町の食文化の体験機会や学習機会の確保、イベントの開催を検討する。

②　和紙の生産と和紙に関わる物語・行事の伝承

○　和紙の生産や担い手の育成を支援する。

○　和紙に関わる物語や行事に関わる情報発信に努めながら、その伝承を促進する。

③　養蚕の歴史文化の保存・活用

○　養蚕に関わる建造物や道具類などの調査を行い、歴史文化の保存を図る。

○　養蚕に関わる調査の成果などをもとに、関係する情報の提供や学習機会の確保、歴史民俗資料館における展示の充実などを図る。

④　農家建築の調査・研究と保存・活用

○　農家建築の調査・研究を進めるとともに、その成果の情報発信など活用に努める。

○　武家や商家などの歴史的建築物と関連づけ、建築めぐりなどのイベントの開催や学習機会の確保について検討する。

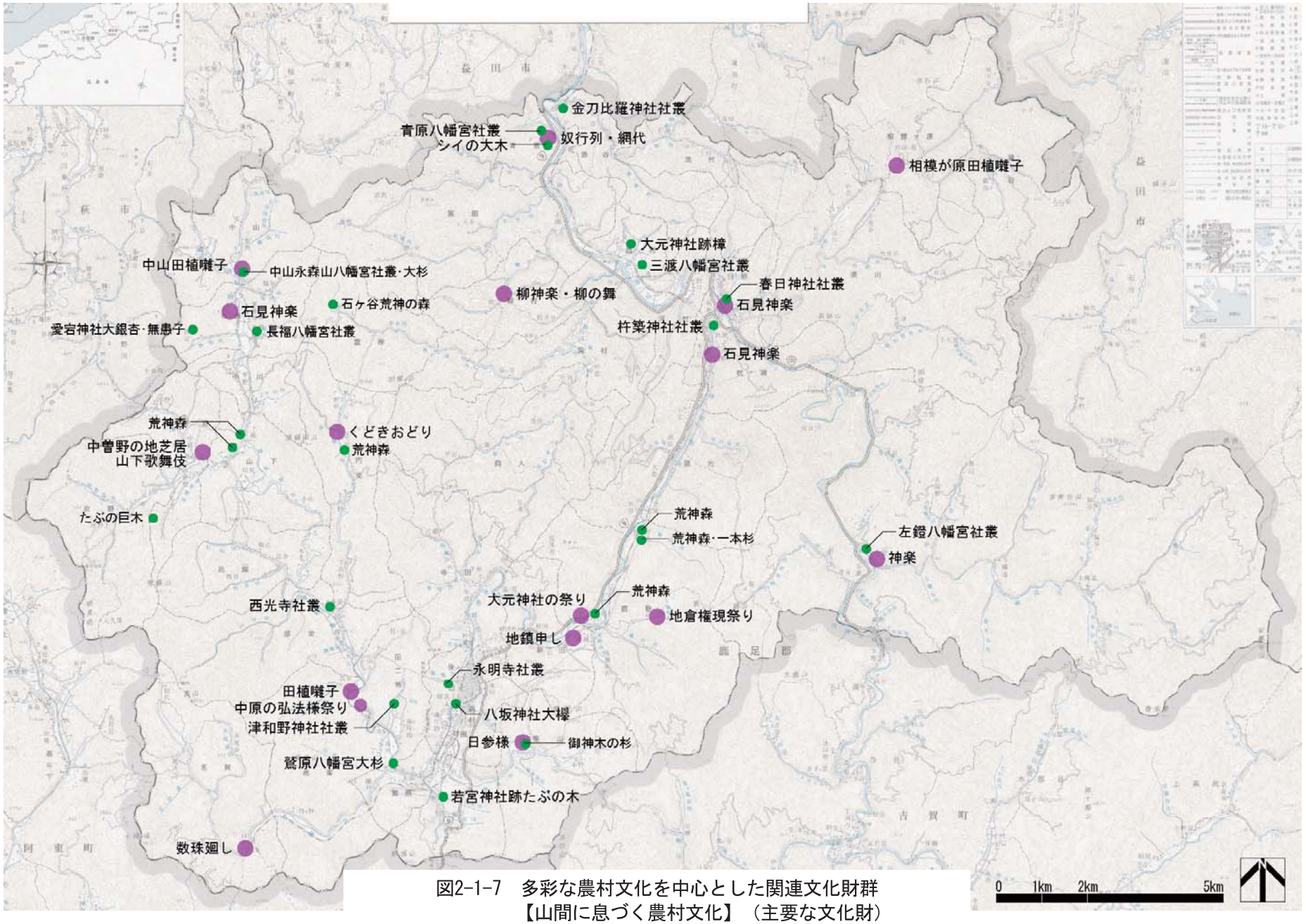

図2-1-7　多彩な農村文化を中心とした関連文化財群
【山間に息づく農村文化】（主要な文化財）

９　山や森に関する関連文化財群【森林文化と信仰】の取組内容

（１）　個別的な取組内容～森林文化と信仰～

①　山や森林の保全・活用

○　関係団体等と連携しながら、森林の保全・活用を進めるとともに、登山道や眺望の場などの確保に努める。

②　山岳信仰やそれに関わる文化財の保存・継承

○　青野山や安蔵寺山など信仰の対象となる山の環境保全に努めるとともに、関係する文化財の保全・活用に努める。

③　山や森の生業に関わる文化財の保存・活用

○　たたら場跡や炭焼き窯跡など、生業に関わる文化財の保存・活用について検討する。

○　ワサビの生産とワサビ田の保全などを促進するとともに、地域資源や文化財としての情報発信など活用に努める。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～森林文化と信仰～

①　山や森に関わる自然遺産の調査・研究と成果等の活用

○　山や森に関わる自然遺産の調査・研究を進めるとともに、その成果の情報提供など活用に努める。

②　山や森の生業に関わる文化財の調査・研究とネットワーク的な活用

○　たたら場跡や炭焼き跡、ワサビの生産など、山や森の生業に関わる自然遺産の調査・研究やその情報提供を進めるとともに、体験学習などの機会の確保に努める。



図2-1-8　山や森に関する関連文化財群
【森林文化と信仰】（主要な文化財）

10　通史的な関連文化財群【連綿と続く津和野の歴史と文化】

（１）　個別的な取組内容～連綿と続く津和野の歴史と文化～

①　縄文遺跡などの保存・活用：高田、大蔭地区における縄文の里（仮称）づくりの検討

○　縄文時代から古代にかけての遺跡や歴史文化の調査・研究についても進める。

○　大蔭地区において縄文時代などの遺跡（大蔭遺跡）の保存・活用を図り、道の駅と連携させた“縄文の里（仮称）”づくりを検討する。

②　その他各関連文化財群（テーマ）における取組の推進

○　関連文化財群相互のつながりについても意識しながら、各関連文化財群における取組を推進する。

（２）　群（つながり）づくりの取組内容～連綿と続く津和野の歴史と文化～

①　主要な文化財によるテーマと時代をつなぐネットワークづくり

○　各関連文化財群をつなぐ横断的なテーマや時代の設定など、関連文化財群相互の連携を図った活用を進める。

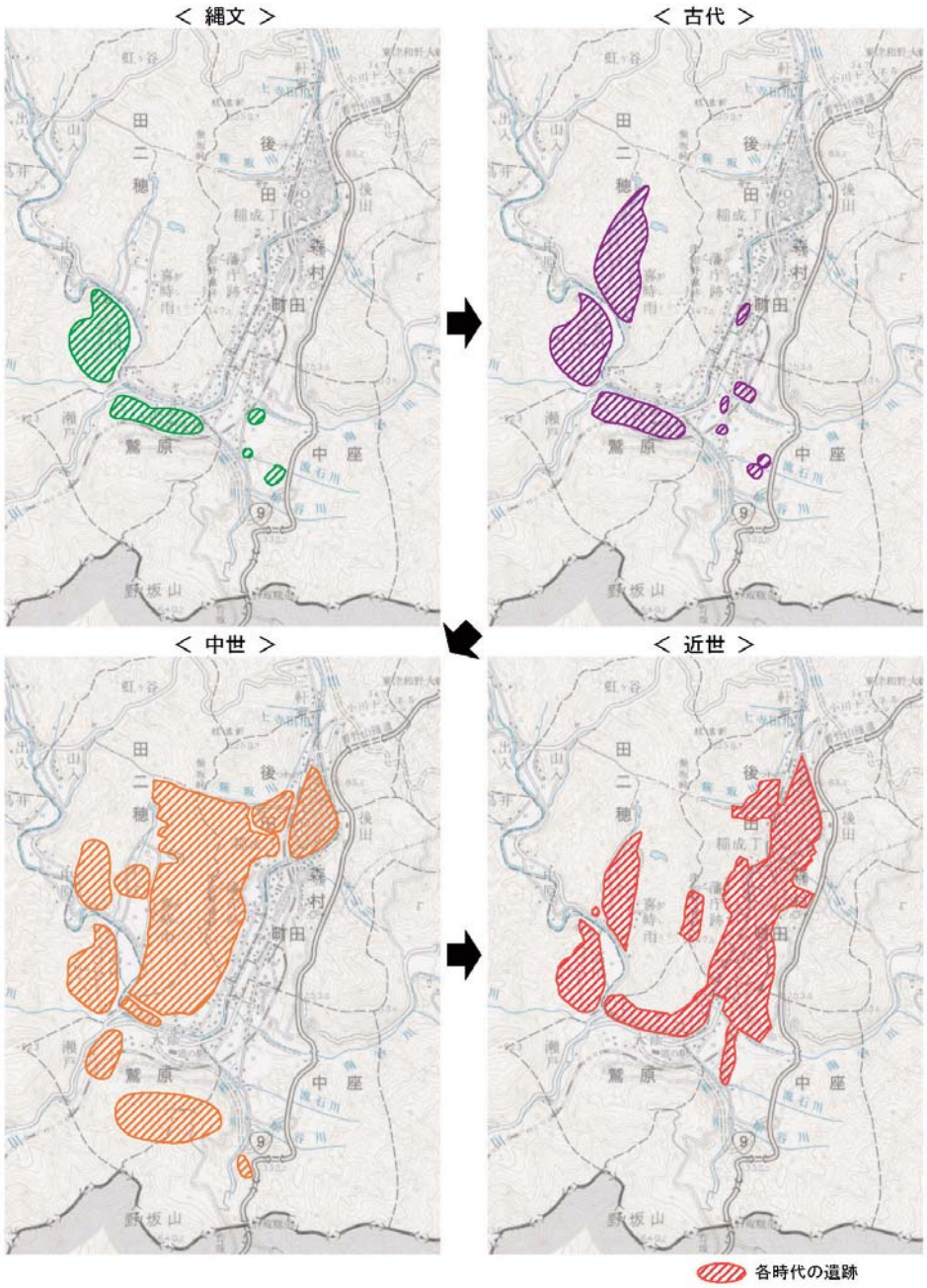

図2-1-9　津和野城下町遺跡と周辺遺跡の変遷（通史的な関連文化財群のモデル…一例）

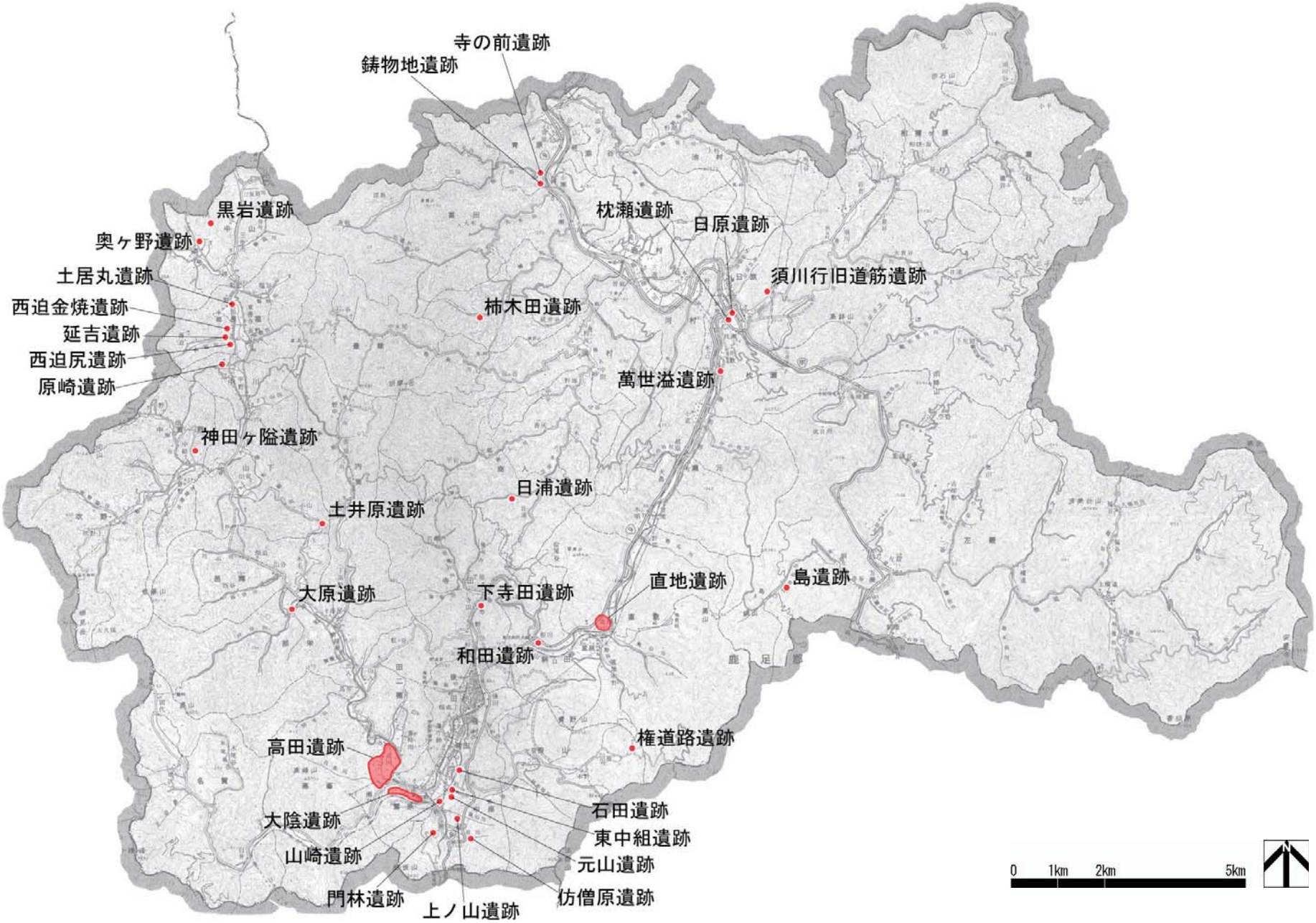

図2-1-10　通史的な関連文化財群【連綿と続く津和野の歴史と文化】（参考表示：縄文遺跡）